

# 出観集

覚性法親王

蛍

いすのくによひの灯きえやらで

ほのめく影は蛍なりけり

玉水にやどねるほしとみえつるは

あけゆくままにきゆる夏虫

むらくさのしたばとびかふ蛍こそ

風にこぼるる露とみえけれ

蛍照水草

夕風のたまふきはらふ蓮ばは

すだく蛍の光をぞかる

暁螢火

あけぬればすだく蛍のともすひも

枕にきえぬをの草ぶし

竹中螢

いこころしててらせ夏虫くれたけに

ねぐらしめたる鳥もこそたて

隔竹望虫

いたじとみおろさぬこすのうちのは

竹よりおくにもゆる夏虫

「国歌大観」より